

2022年度 晴れバレ高島サポートセンター 自己評価表

サービスの種類：児童発達支援・放課後等デイサービス

		チェック項目	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令を遵守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	法令で必要とされている配置数に加えて、保育士を1名以上（常勤換算）配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	玄関及び事業所内に軽微の段差はあるが、トイレやその他はバリアフリー化されている。 個々の特性を理解した上での環境調整やスケジュール等の支援ツールを今後強化していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	日々の清掃で快適に過ごせるように努めている。 こまめな清掃やひとつひとつの玩具の清掃・消毒を行い、気持ちよく利用できるように努めている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	意見を求め情報共有を行っている。 今後も統一した支援が提供できるように努めていきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	毎年度実施している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページにて公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者機関により外部評価は実施していない。 多角的な意見を反映させるためにも前向きに検討をしていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	年間計画に基づき内外部の研修を実施しているが、今年度もコロナ渦の影響で実施できていない研修もあったが、ズーム研修などできる範囲で機会を増やしている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか。	利用開始までに利用者・保護者の主訴等の聞き取りを行い支援計画に反映できるように努めている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	事業所としては異年齢児の利用が多いことから標準化までは確立できていないが、 個々の状況把握に努め、支援内容を考えている。
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、児童発達支援ガイドライン・放課後等デイサービスガイドラインの内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	職員には各ガイドラインの周知を行い、サービスの趣旨を理解できるように努めている。 サービスの在り方等、より理解を深めて支援を行えるように努める。
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	計画の内容を全体が把握して、目的・ねらいをもう少し明確に落とし込み支援を行っていく必要がある。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	月毎に内容を変更して実施している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	当日の利用者の構成に応じて都度変更を行いながら実施している。
	16	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定して支援しているか	長期休暇には社会性の向上を目的とした外出支援を行っている。今年度はコロナ渦の影響もあったが、できる範囲での外出支援も行った。今後もできる範囲で設定していきたい。
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を・放課後等デイサービス作成しているか	利用者・保護者のニーズを基に個別活動・集団活動を実践している。

	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	朝礼の時間を活用して当日の打ち合わせ、及び前日からの申し送り事項や支援の留意事項等の打ち合わせを行っている。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	夕礼の時間を活用して当日の振り返り、申し送り事項や支援の留意事項を等の確認、打ち合わせを行っている。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎回記録を残し、保護者用と支援内容を記載した事業所用の記録を行っている。
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6ヵ月毎の見直しを行い、状況に応じて再アセスメント・家庭での様子等の聞き取りを行っている。
関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児童発達支援管理責任者に加えて、必要に応じて管理者・保育士等の職員が参画する。
	23	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	関係機関との連携を図り支援を行っている。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	関係の医療機関、主治医からの意見をもらい支援に反映できるよう努めている。
	25	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	協力医療機関と業務委託契約を結び、状態に応じて医師・看護師等の支援が受けられる体制を整えている
	26	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	情報共有に努めているが不足している部分もあり、今年度は特にコロナ渦のため行き届かなかった。
	27	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	情報共有に努めている。今年度はケース会議等へも開催があれば積極的に参加できた。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	利用開始までに学校、担任と連絡を取り、各種取り決めを確認している。 新年度は新たな担任と連絡調整を行っている。
	29	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	センター・児童発達支援事業所との連携を図っている。 研修等に関してはコロナ渦で取り組めなかった所が多い。
	30	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	情報共有に努めている。当事業所から引き続き利用するケースもある。
	31	保育所や認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ、児童館等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	左記の機関との交流は図れていない。
	32	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供する等しているか	ケースとしてはまだ少ないが、情報提供には努めている。
	33	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	支援部会の定例会があった時には参加に務めている。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳や送迎時に状況や課題について共有している。 不足している点もあるため、今後強化に努めていきたい。

	35	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	ケースとしてはまだ少ないが、個別で対応している。
保護者への説明責任等	36	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	利用契約時に説明を行い、同意を得ている。
	37	児童発達支援ガイドライン・放課後等デイサービスガイドラインのねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	十分に行えている部分と、保護者の就労状況により不十分な部分もあるため、説明時間が十分確保できるように相談をしながら努めていきたい。 同意をもらい支援を行っている。
	38	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	連絡帳や送迎時に相談等を行っている。 時期を決めて希望者には面談等を行っている。
	39	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現在は取り組みができていない。コロナ渦の影響もあまり必要と感じていない保護者が増えている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情（相談）受付窓口を設置している。 いただいた苦情については社内フローに基づいて、苦情解決責任者を中心に迅速に対応している。
	41	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	定期的な会報等の発行は行っていないが、SNS等を活用し、発信するように努めている。
	42	個人情報の取扱いに十分注意しているか	個人情報・守秘義務に関するマニュアルを作成している。 第三者への漏洩がないように事業所内での取り扱いにも留意している。
	43	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	必要な方法でやり取りを行い配慮した対応を行っている。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	地域交流について今後の課題としている。
	45	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	各マニュアルを作成して法令に沿った対応を行っている。 重要事項説明書にて概要の取り組みを説明している、マニュアルは事業所にて開示可能。
	46	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	マニュアルを基に法令に沿って実施している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	服薬に関して事前に確認している。 予防接種は周知は行っているが、証明証等の確認は行っていない。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	必要に応じて指示書をもらう。
	49	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	事案について記録を残し再発防止に努めている。
	50	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	マニュアルを作成して、研修等も行い適切に対応をしている。
	51	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	当事業所では身体拘束を行っていないが、必要な場合はガイドライを基に十分な説明を行い、同意を得てから実施する。